

電機連合富山地協 第52回定期大会 報告

9月9日(金)ポルファートとやまにおいて、電機連合富山地協第52回定期大会を開催しました。昨年に引き続き、リアル&Webのハイブリッド開催とさせて頂きました。来賓として電機連合本部の浦書記次長よりお祝いの言葉を頂戴し、矢田わか子政治顧問からは、Webにてご挨拶頂きました。また、連合富山の浜守会長、北陸労金の山岸理事長、こくみん共済の山崎事務局長、歴代役員懇談会の藤畑会長からは、リアルにてご挨拶頂きました。

続いて「経過報告」、「加盟組合承認」「2022・2023年度の運動方針」、「2022年度予算」、「2022・2023年度役員体制」、「外部役員派遣」、「役員表彰」について執行部から提案され、満場一致で可決承認されました。

(報告・議案事項は、以下の通り)

【経過報告】2021年度一般経過報告

2021年度会計報告および会計監査報告

- 【議事】
- 第1号議案 加盟組合承認等に関する件
 - 第2号議案 2022・2023年度運動方針に関する件
 - 第3号議案 2022年度予算に関する件
 - 第4号議案 2022・2023年度役員選出に関する件
 - 第5号議案 外部役員派遣に関する件
 - 第6号議案 役員の表彰に関する件

【議長団の皆さん】



【TPSU砺波 水野 代議員(左)】
 【コーセル労組 林 代議員(右)】

電機連合富山地協 2022・2023年度役員体制

議長	浦島 成友	北陸電機製造労働組合	新
副議長	横田 雄治	TPSU魚津支部	新
	大崎 大輝	北陸電気工業労働組合	新
	後藤 肇	コーセル労働組合	
	川瀬 浩	TPSU砺波支部	
事務局長	大森 仁	TPSU魚津支部	新
常任幹事	押田 武志	TPSU魚津支部	
	古谷 将吾	北陸電気工業労働組合	
	谷内 正導	KOKUSAI ELECTRIC労働組合	
	島田 聖也	コーセル労働組合	
	石黒 等	TPSU砺波支部	新
	福島 翔太	北陸電機製造労働組合	
	佐々木 英弘	パナソニック・アストリ労働組合富山支部	
	金山 仁美	富士電機パワーセミコンダクタ労働組合北陸支部	新
	土井 仁志	アットフィールド・テクノ労働組合	新
	竹田 隆悟	SMK労働組合富山支部	
	百瀬 賢博	国際電気セミコンダクタサービス労働組合	
	柳瀬 篤	トーキン労働組合富山支部	
	遠藤 学	富士電機労働組合本社支部北陸分会	
	村上 裕幸	AWS労働組合	
会計監査	山本 宏之	TPSU魚津支部	
	山口 亮	KOKUSAI ELECTRIC労働組合	
特別常任幹事	浜守 秀樹	連合富山会長 (TPSU魚津支部)	

【来賓の皆さん】



電機連合本部 浦書記次長
 電機連合本部 矢田政治顧問
 連合富山 浜守会長
 北陸ろうきん 山岸理事長
 こくみん共済 coop 山崎事務局長
 歴代役員懇談会 藤畑会長

【役員表彰の皆さん】



【森川さん】 【柳瀬さん】



【2022・2023年度富山地協新役員の皆さん】

【退任された役員の皆さん】

前副議長	柳瀬 良則 (北陸電気工業労働組合)
前事務局長	森川 幸夫 (北陸電気工業労働組合)
前常任幹事	川井 大輔 (TPSU砺波支部)
	浅生 厚 (富士電機パワーセミコンダクタ労働組合北陸支部)
	永栄 大智 (国際電気セミコンダクタサービス労働組合)

氏名	役職名	所属組合
森川 幸夫	常任幹事	4年
	副議長	4年
	議長	4年
	事務局長	6年
北陸電気工業労働組合		
柳瀬 良則	副議長	6年
北陸電気工業労働組合		
浅生 厚	常任幹事	6年
富士電機パワーセミコンダクタ労働組合 北陸支部		
永栄 大智	常任幹事	5年
KOKUSAI ELECTRIC労働組合		

議長挨拶 (要旨)

議長 大森 仁

はじめに

本日の大会は、各組織の新型コロナウイルス対策を考慮し、リアルとWebを併用したハイブリット開催と致しました。皆さん方のご理解とご協力に感謝申し上げます。また、来賓対応においては、日頃、大変お世話になっております電機連合本部より、浦書記次長におかれましては、リアルで、そして電機連合政治顧問の矢田わか子様には、後ほど、Webにて、ご挨拶を頂戴したいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



また、連合富山からは、浜守会長、北陸労金からは、山岸理事長、こくみん共済coopからは、山崎事務局長、歴代役員懇談会からは、藤畑会長が本日、会場にお越しいただきました。来賓の皆様には、日頃からの電機富山地協に対しますご指導とご厚誼に、組織を代表してお礼申し上げたいと思います。

まずは、昨年の大会以降、コロナ禍の影響により制約や制限がある中において、これまでの間、皆さん方のご意見をいただきながら、様々な活動に取り組んでまいりました。この1年間の諸活動に対します各加盟組織のご理解と積極的なご協力に、心より感謝申し上げます。私からは、(1) 第26回参議院選挙について (2) 向こう2年間の運動方針に対する想いについて、お話をさせていただきます。

第26回参議院議員選挙について

第26回参議院議員選挙の比例代表区においては、電機連合組織内公認候補「矢田わか子」の取り組みを富山地協としても懸命な取り組みをやってきました。その様な中で、比例代表区として全国の電機の仲間から16万強の大きな支持をいただきましたが、結果、国民民主党の比例獲得枠3に対して第4位ということで、とても残念な結果となりました。今回、全国的には、前回、前々回の選挙と比較すると大きく票を落としたものの、富山県においては、一定の票の上積みを図ることができたことは、多くの組合員とご家族の皆さん方からご支援をいただいたものと考えております。これまでの取り組みに対しまして、皆様からいただいた力強いご支援に、改めてお礼と感謝を申し上げます。本当に有難うございました。ただ、今回、多くの皆さんの支援をいただきながら、前回の石上さんに引き続き、矢田さんまでも国政に送り出すことができなかったこと、私も、選挙本番期間中の政策フォーラム、決起集会の中で、富山地協の先頭に立って戦うと誓いながら、この様な結果になったことに重い責任を感じております。いずれにせよ、今回の選挙結果は、国民民主党の知名度の低さが明暗を分けたことも事実ではありますが、決して他責にすることなく、富山地協としても、電機連合本部と連携を図りながら、しっかりと総括をしなければならないと考えております。次回の選挙は、まだ、候補者が決まっておりませんが、再度、矢田さんが、候補者になる可能性も無い訳ではありません。よって、富山地協としても、これから3年後に向けて、選挙時期だけの取り組みではなく、日頃から組合員と国政の接点を増やしながら、次期参議院議員選挙でのリベンジに向け、引き続き、電機連合本部、そして矢田政治アドバイザーと連携した暮らし改革活動としての取り組みを継続していきたいと思っております。ご理解とご支援の程、宜しくお願いいたします。



加盟組合承認等に関する件について

昨年度は、富山地協としても、今一度、産別運動の基本に立ち返り、電機産業の多様性を意識した大きな仲間作りである組織拡大の取り組みに挑戦してきました。その結果、本日の第1号議案の加盟組合承認に関する件では、「アットフィールズテクノロジー労働組合」の皆さんに富山地協へ新たに加盟していただき、これから共に活動をして行く運びとなりました。富山地協への加盟をご決断いただいたことに対し、感謝申し上げますとともに、仲間の皆さんとともに心から歓迎し今後のご活躍をご祈念申し上げます。この結果、2022年度の富山地協の組織実態は、1組合増の構成組合数14組織、実在組合員数3,784人となりました。

電機連合の重点活動である組織拡大は、働くことの尊厳や権利を守るための大事な取り組みであります。加盟組合の皆さんには、組織拡大を労働運動の柱の一つに位置付けて頂き、雇用延長や有期社員などの組織化の取り組みを含めて強化していただきたいと思っております。

向こう2年間の運動方針について

これまでの2年間を振り返ってみると、長引くコロナ禍の中での組合運動を進める上で、これまで前例にない事や予測できない事象が沢山あり、大変苦慮してきました。この様な状況を踏まえ、アフターコロナを見据えた新たな地協運動、活動の在り方を検討し、柔軟に対応できる体制を早期に構築しなければならないと考えております。これまで、変えたくても変えることが出来なかったこと、この機会に思い切って変えて行く、挑戦すべき事は沢山あると思っております。まさに課題は山積しており、常に新たな課題は降り掛かって来ると思っております。現在、多様化する価値観がある中において、今一度、労働組合として、守るべき物は何か？変えるべき物は何なのか？をしっかりと見定めながら、新たな活動スタイルを模索し、山積する課題解決が一つでも多く、前に進めることができるように、向こう2年間、新たな地協運動に再挑戦していきたいと思っております。

そこで私たちは、これからの2年間、まず一つとして、先ほどお願いしました組織拡大の取り組みと合わせて、組織強化、加盟組織への支援活動を強化していきたいと思っております。その中で、特定最低賃金など電機産業で働く全ての仲間の処遇改善、各組織における経営対峙や組合活動の原点となる職場環境の改善に活用できる様に富山地協としてのサポート体制構築を図る必要があると思っております。その上で、あらゆる課題を解決するためには、今まで以上に、組合役員の様々な資質が問われることになると思っておりますので、その大事な人材育成を富山地協として各種取り組みを通じて担っていきたくて考えております。是非、セミナーや各種懇談会への積極的な参画を宜しくお願いします。

そして2点目は、電機連合共済制度の促進の取り組みのお願いであります。富山地協として、電機連合の共済別の加入率を少しご紹介すると、「ねんきん共済」が、27.6%、「けんこう共済」が25.5%、「ファミリーサポート共済」が13%と言うことで、いずれも前年比増で推移している状況であります。また、昨年度目標に対する実績は、「ねんきん共済」の達成率が111%、「けんこう共済」が150%、「ファミリーサポート共済」が102%と言うことで、これまで加盟組織の皆さん方には数多くの共済に加入していただいております。毎年、富山地協としての加入目標の達成に向けて多大なるご協力をいただいております。この場をお借りし、深く感謝申し上げます。

その様な中で、今年度においては、福祉共済センターの中期目標である共済加入率40%達成に向け、地協内の担当者を一新させ、加入促進に注力していきたいと思っております。その上で、フレッシューズプランナー加入の導入組織の拡大の方も積極的に図っていきたくて思っておりますので、是非、導入されていない組織の早急なご検討を宜しくお願いします。引き続き、富山地協としても、可処分所得の向上や社会保障への準備、災害への備えと生活再建などに有効な、「こくみん共済coop」や「ろうきん」の商品も含めて、周知を図るとともに、共済加入促進に向けた取り組みを強化したいと考えております。なお、森川事務局長が、すでに電機連合本部の福祉共済センターの事務局長に就任されておりますので、これまで、森川事務局長がご尽力をいただいた共済促進の流れを決して止めることなく、富山地協としても、これまで以上の取り組み推進を図っていく覚悟であります。是非、加盟組織の絶大なご協力をお願いしたいと思います。

最後になりますが、今年は電機連合として役員改選の年度になります。会場の皆さんの中にも組織事情で退任される方、新たに役員になられた方が多くおられると思っております。とりわけ、これまで長きに渡り、富山地協の重責を担っていただいた森川事務局長をはじめ、北陸電気工業労組の柳瀬副議長、富士電機パワーセミコンダクター労組北陸支部の浅生常任幹事、そして、それぞれの組織においてご退任される皆様の新天地、新たなお立場でのご活躍をご祈念申し上げます。

結びになりますが、富山地協は、県下における主要産別組織の「責任と役割」を認識し、さらなる組織拡大に加え、構成組織の力と知恵を結集するとともに、何より職場組合員の「期待と信頼」に応えるべく運動を展開するために、皆さんと共に新しい一歩を踏み出しましょう。本日もご臨席の皆様のご健勝とご活躍、そして各組織のご発展、ご活躍を祈念申し上げます。執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願い申し上げます。

新議長挨拶 (要旨)

新議長 浦島 成友

電機連合富山地協 第52回定期大会



今次大会においてご承認を賜り、向こう2年間、議長を務めさせていただくこととなりました北陸電機製造労働組合の浦島でございます。

私事ですが、地協との関りは、ちょうど20年前の2002から常任幹事を務め、その後OB会に所属したにも関わらず、なぜか2015年に引き戻され、その後6年間副議長として、地協活動に参加させていただきました。今回、議長という大役を仰せつかり、改めて、身の引き締まる思いであります。

日々の単組活動においては、「労働組合の目指すものやあるべき姿」あるいは、「組合員が感じる労働組合の存在意義」の薄れは否めず、組織運営の難しさを痛感している次第です。加えて、コロナ禍、ロシア・ウクライナ問題、急激な円安などにより、部材不足や材料費高騰による企業活動への悪影響、エネルギーをはじめとする物価高など、生活への打撃は予想をはるかに超え、大変厳しい社会情勢と言っても過言ではないと思います。

こんな状況だからこそ、我々労働組合ができること、果たさなければならないことを見つめ直し、士気を高めていかなければと感じております。

電機本部でも言われているとおり、我々、労働組合の「変わらぬ思い、変えてはいけない思い」と、時代感覚や、社会情勢を踏まえ「柔軟に、大胆に変えること」を、地協役員全体で共有しながら、加盟単組の道しるべとしての役割を果たし、組合員やその家族に対し、やりがいのある職場づくりや、生活不安、将来不安の払拭などに繋がる運動を展開しなければなりません。

その実現には、労働組合の根幹である「人の繋がり」が必須であります。アフターコロナは来なくても、withコロナで如何に「人の繋がり」を実現することができるかに注力していきたいと思っております。

そして、久しぶりに今期から新しい仲間を迎え、活動できること大変嬉しく思います。是非、「アットフィールズテクノロジー労働組合」の皆さんに「加盟してよかった」と感じていただけるよう、また 今次大会で御退任された皆様、特に富山労働界の重鎮である森川さんより、お叱りを受けないよう、そしてなにより 電機富山50年超の歴史に恥じない様に頑張りますこととお誓い申し上げ、新役員を代表してのご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新労組紹介

アットフィールズテクノロジー労働組合
(AMTU)
魚津市東山800

この度は、弊労組の加盟にご承認頂き、誠にありがとうございます。

弊社は本社を魚津市におき、プロパー社員179名で構成され、全国でシステム環境構築から運用まで工場スマート化を支援する技術を提供しています。また、工場の様々なデータ解析による課題抽出、改善まで支援させて頂くことで、顧客の成長・目的達成を可能にする企業として“モノづくり革新”を通じ、社会貢献することが我々の使命です。

パナソニックの株式譲渡を機に2021年7月に弊労組を立上げ、2022年9月時点で150名の組織となっておりますが、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻等により、これまでの危機や変革を上回る事態に至っており、企業戦略・生活様式等、多分野に影響が拡大しています。

このような状況下でも競争力を磨き、雇用維持し、モノづくりを続けていくために、変化を敏感に察知し、事態を後戻りさせず、知恵と努力で変革に挑戦していく所存です。

また、多様化する価値観やニーズの中で、これまで以上の団結力・組織力を高めていく所存です。不慣れでご迷惑をお掛けするかとありますが、精一杯皆さんの一助となるよう務めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

AMTU執行委員長 土井 仁志



AMTU三役の皆さん



写真左から木下晋書記長、畠山直己副執行委員長、土井仁志執行委員長、兵間政浩副執行委員長



私の最近のお気に入りは、一口馬主です。昔から馬が好きでダービースタリオンなどのゲーム育成などをして遊んでいました。ただ、馬主になってみたいと思っても、一般会社員にそんなお金はありませんでした。(笑) ただ、それでも一口馬主であれば、費用もある程度抑えられ、気軽に馬主感覚を味わえるということで、コロナであまり出かけることもないというきっかけから始めることにしてみました。

出資は1歳の時に行うため、デビューまではおよそ1年の期間があります。出資後はクラブの動画で愛馬の馬体の成長や、調教で競走馬としての基本動作の学習をしていく過程などを見て、自分の馬が成長していく様子を見ることで一喜一憂することができます。また、実際に牧場見学などで愛馬の様子が見られます(私は見に行ったことはないのですが。)2頭は既に3歳馬になっており片方が1勝で1頭はこれから競走馬に変わっていくため、これからの成長を見ていくことも楽しみです。



次回のリレーコラムは、アットフィールズテクノロジー労働組合 土井 仁志委員長にお願いします。

全国キャラバン 国民民主党玉木代表来県

事務局長 大森 仁

9月18日(日)、国民民主党の玉木雄一郎代表が来県され、富山駅前にて街頭演説を開催し、先の第26回参議院選挙に対する国民民主党への支援に対するお礼と共に、来春の統一地方選挙を見据えた党勢拡大に向けた支援の呼びかけ、国民民主党の政策アピールがなされた。今回は、国民民主党を支援する組織の電力総連、自動車総連、U Aセンゼンの仲間の皆さん共に、電機連合富山地協としても、多くの皆さんにご参加頂きました。

最初に、田村まみ参議院議員からご挨拶を頂き、次に玉木代表による街頭演説で会場が盛り上がる中、玉木代表から、国民民主党の掲げる政策に対する熱い思いを訴えて頂きました。



電機連合 富山地協ホームページ

<https://www.jeiu.jp/toyama/>

URLを直接入力、または「電機連合富山地協」と検索

電機連合富山地協

Q 検索

編集後記

今期から編集者が交代しました。構成組織の皆さんに少しでも興味を持っていただける記事を提供できるように頑張っていきますので、宜しくお願いします。(大森)